

Weekly コラム

令和 8 年 2 月 25 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

《コラム》AI 時代を生き抜く 理解・知識・環境の三本柱

◆広がる「シャドーAI」

最近よく耳にする「シャドーAI」という言葉をご存じでしょうか。これは、会社の正式な承認を得ないまま従業員が AI ツールを使ってしまうことを指します。調査によれば、従業員の 7 割以上が生成 AI を使い、禁止されても半数近くは「それでも使う」と答えているそうです。便利さに惹かれ、「とにかく試してみたい」という気持ちが先に立ってしまうのは理解できるどころです。

◆見過ごせないリスク

しかし、その裏には見過ごせないリスクも潜んでいます。実際に大手企業では、エンジニアが対話型 AI に機密コードを入力し、外部に流出してしまった事例も報告されています。また、生成 AI の誤情報に振り回されれば、判断を誤る危険もあります。ちょっとした油断が大きな損失につながるかもしれないのです。

◆背景にある2つの要因

このような状況の背景には2つの要因があります。ひとつは、経営層を含め企業全体の AI に対する理解不足。日本の AI 利用率は世界平均を大きく下回っており、経営陣の慎重な姿勢と現場のニーズの間にギャップがあります。もうひとつは従業員側の知識不足です。「機密情報を入力しない」「結果を鵜呑みにせず確認する」といった基本的なルールが徹底されていません。特にデジタルに慣れた若い世代には、

明確な指針や教育の機会を与えることが欠かせません。

◆解決のカギは「安全な環境」

そして、解決のカギは「安全な環境を用意すること」にあります。

ChatGPT Enterprise や Microsoft 365 Copilot など法人向け AI は、学習にデータを使わず、高度なセキュリティ機能を備えています。こうしたツールを企業が導入し「安心して使える場」を整えることで、未承認での利用は自然と減り、生産性向上の正式な手段へと変わっていくでしょう。

◆AI は経営のパートナーへ

リスクを恐れて利用を避けるのではなく、企業理解・教育・環境整備を通じて活用を正しい軌道に乗せることが重要です。AI は一過性の流行ではなく、今後の経営を支える戦略的パートナーとなり得ます。企業が主体的にその関係を築けるかどうか、競争優位を左右するでしょう。

記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。